

# ⑩第19回ちびっ子サッカー大会（4. 3年生）競技規則細則

## 1. 競技規則

- (1) 試合時間
  - ・予選リーグ、決勝トーナメントとも15-5-15分または12-3-12分とする。
  - ・治療等のための長時間の中断以外ではアディショナルタイム無しのランニングタイム方式とする。
- (2) 人数
  - ・ゴールキーパー1名、フィールドプレーヤー7名の8人制で行う。
  - ・6名に満たないチームは不戦敗とする。
- (3) 交代
  - ・自由な交代とする。
  - ・インプレー、アウトオブプレーに関わらず、交代ゾーンからいつでも交代できる。但し、交代する競技者がピッチを出てから交代要員の競技者が入ること。違反した場合は以下の①から④の手順で対処する。
    - ①プレーを停止する。
    - ②交代する競技者をピッチの外に出す。
    - ③交代要員に警告を与える。
    - ④試合を停止した時にボールがあった場所から、相手チームの間接フリーキックで再開する。
  - ・GKは、事前に主審に通知した上で試合の停止中に入れ替わる事が出来る。
- (4) 用具
  - ・試合球は検定4号球（両チーム持ち寄り）とする。
  - ・ユニフォームは正副2着用意する。但し、ビブスによる対応を可とする。
  - ・キーパーはフィールドプレーヤーと違う色のユニフォームを用意する。（ビブス対応可）
  - ・スパイクは固定式（トレシュー、運動靴も可）とし、スネ当てを必ず着用する。
- (5) キックオフ
  - ・キックオフからの直接のゴールインは認めない。
  - ・直接ゴールインした場合は相手チームのゴールキックで再開する。
- (6) フリーキック（直接・間接）
  - ・相手競技者は7m以上離れなければならない。
  - ・反則の位置が7m離れられない場合はゴールライン上まで離れる。
- (7) スローイン
  - ・ボールがタッチラインを割った場合は、相手チームのスローインで再開する。
  - ・スローインからの直接ゴールインは認めない。ゴールインした場合は相手チームのゴールキックで再開する。
- (8) ゴールキック
  - ・攻撃側がゴールラインからボールを出した場合は、ペナルティエリア内の任意の位置から守備側のフリーキックで再開する。
  - ・ゴールキックからの直接のゴールインは得点と認める。
- (9) ゴールキーパー
  - ・ゴールキーパーが保持したボールはパントキックする事が出来る。
  - ・ゴールキーパーのパントキックからの直接のゴールインは得点と認める。
  - ・ゴールキーパーのパントキックおよびキーパーズローがハーフラインを越えても良い。
  - ・味方からのバックパスを直接手で扱う事は出来ない。違反の際は相手競技者に間接フリーキックを与える。

- (10) コーナーキック
  - ・コーナキックはコーナーアーク内にボールを置いて行う。
  - ・その再、相手競技者は6m以上離れなければならない。
- (11) PK戦
  - ・3人制で行う。3人で決しない場合は一方のチームが他方より多く得点するまで継続する。
- (12) その他
  - ・オフサイドルールは適用する。
  - ・審判は4人制で行う。審判への意義は原則として認めない。
  - ・この細則に定めのない競技規則・反則と不正行為については、大会実施の年度の日本サッカー協会競技規則に準ずる。
  - ・ファールや不正行為で競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは競技者を補充することができる。

## 2. 競技のフィールド

